

[基本教育科目/表現力の養成]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
英語Ⅱ	NLA12_002	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
和田 望	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	「英語Ⅰ」での学習を踏まえ、看護の専門分野に焦点を当て、看護の専門分野に関係する語彙や英語表現の基礎知識を身に付け、基本的な英語コミュニケーション能力の向上を図る。Teamsを活用し表現や文法事項について説明する。また、オンラインフォーム等を利用してフィードバックや意見交換を行う。				
学習上の助言	この授業では予習・復習を必ず行い、発音練習やペア/グループワークに積極的に参加し、授業中は大きな声で発言すること。学習において不明・不安な点があれば授業前後に質問を受け付けるので、積極的な姿勢で学習に臨んでほしい。				
教科書	実践看護英語—専門用語の習得と英会話能力の養成—/著:竹林修一/監修: 香里ヶ丘看護専門学校 濱田真由美/編:Frank Tucker/英宝社				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	医療の現場で必要な語彙を身につける	NS(2)			
②	ネイティブスピーカーの英語を聞き取ることができる	NS(2)			
③	英語を聞いて、自分の意志を英語で伝えることができる	NS(2)			
④	学習した医療・看護英語の知識を用いて英文を作成したり読み解くことができる	NS(2)			
⑤	発話・会話練習を通して相手に伝わる英語を表現できる	NS(2)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス、Unit 1:一般的な症状に関する表現を学習する。	同時双方向型授業		1	
2	Unit 1:一般的な症状に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
3	Unit 2:外科症状に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
4	Unit 3:皮膚の症状に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業	[事前課題] ① 単語・表現を調べ単語帳に記入する。	1	
5	Unit 4:持病・生活習慣に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業	② Vocabulary、Conversation、Language Practice の問題を解く。	1	
6	Unit 5:基礎検査に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業	③ 問題の解答をオンラインフォームから提出する。	1	
7	Unit 6:精密検査に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業	<オンラインフォームに入力する前に、解答は必ず教科書やノートなどに書き込んでおくこと。>	1	
8	Unit 7:処方薬に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
9	Unit 8:治療に関する表現を学習する(疾病)。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
10	Unit 9:心情理解に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
11	Unit10:予約・電話対応に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業	[復習] ① 重要表現等をノートにまとめる。	1	
12	Unit 11:手術に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業	② Conversation と Pronunciation 部分の音読練習をする。	1	
13	Unit 12:出産に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
14	Unit 13:専門医に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
15	Unit 14:救急・入院に関する表現を学習する。 フィードバック:授業時間内に実施	同時双方向型授業		1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

[基本教育科目/表現力の養成]

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	30	10	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	30	10	0	0	10	50
	思考・推論・創造する力	10	10	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
		10	0	0	0	0	10
		評価のポイント					フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験を実施する。教科書で学習した語彙、文法項目、会話問題を元に問題を作成する。授業内で説明したことが試験内容の中心となるので、必ずノートを取って復習をすること				試験の添削・返却。
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
レポート	①	✓	教科書で学習した文法知識を使い、英文を作成する。日常会話・医療現場で使える単語を学習し、例文を作る。				Teams 上でコメントする。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
成果発表	①	✓	教科書で学習した Pronunciation 部分のフレーズを発音し、音声を録音して提出する。棒読みではなく、リズム、イントネーション、発音に注意を払うこと。				Teams 上でコメントする。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	オンラインフォームに教科書の問題の解答を入力し提出する。オンライン採点の正解率に応じて評価するため、入力ミスがないよう注意を払うこと。				授業内でコメント・解説する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。言語はコミュニケーションのツールです。使わなければ意味がありません。日本にいて英語を使う機会があまり多くはありませんが、授業を「英語を使う貴重な機会」と捉え、発音練習など積極的な姿勢で参加してください。授業内では理解度をはかる小テストを毎回行います。遠隔授業でもきちんと授業に参加しましょう。							